



くすのき

令和4年3月22日



お祝い給食

3月9日（水）の6年生の給食は、お祝い給食でした。毎年、卒業が近づくと、町給食センターのご厚意により、いつもの給食よりも豪華で、品数も多いお祝い給食が振る舞われます。今年も、子どもたちの大すきなステーキやきなこ揚げパン、野菜フライやカップケーキ等が子どもたちの机の前に並びました。コロナ禍の影響もあり、全員前を向いての黙食となりましたが、「6年生を送る会」で使用した思い出のスライドショーを放映してくれたこともあり、一段とおいしいお祝い給食となりました。

じんとりゲーム 全校 3/3（木） 大放課

3月3日（木）の大放課、報道委員会が中心となって、「じんとりゲーム」が行われました。この「じんとりゲーム」は、なかよし班に分かれて、トラックを挟んで一列に並び、両方の班の先頭が「よーいドン」で相手の陣地に向かってグラウンドに描いた道からはみ出さないように走り、相手と出会ったらジャンケンをします。



勝ったら前に進み、負けたら戻って自分の班の後ろにつきます。それを繰り返し、相手陣地に先にたどり着いた班が勝ちとなるゲームです。子どもたちは、班の勝利を目指して、グラウンドを駆け回り、気持ちのよい汗を流していました。

愛校作業 6年生 3/3（木） 5・6時間目



3日（水）の5・6時目を使って、6年生が愛校作業を行いました。今年の愛校作業は、3月24日（木）に行われる「大井小学校閉校記念式典」の看板作成と、4月に開校する「みさき小学校」の図書館に持って行く本を、運搬用コンテナに収める作業でした。6年生の子どもたちは、緊張した面持ちで、「閉校記念式典」で使用する

看板に色付けをしていました。また、運搬用コンテナに本を収める作業では、友達同士で、収める本の内容や思い出について話をしながら、懐かしそうに作業をしていました。6年生のみなさん、本当にご苦労様でした。そして、ありがとうございました。

ボランティアの方の読み聞かせ（最終回） 3/3（木）

学年	本の題名	読んでいただいた先生
1年	「ハリーのセーター」 「トラのじゅうたんになりたかったトラ」	滝本 好美さん
2年	「にじいろのさかな」	山下かず代さん
3年	「おひなさまのがみ」	滝本 陽子さん
4年	「はらたちごんべい」	間瀬 桂子さん
5年	「100ねんたったら」	兼井 由香さん
6年	「じゅげむ」	山下満由美さん



校外学習（5年） 3／11（金）



11日（金）に5年生が、校外学習で三菱自動車岡崎製作所に行きました。午前8：00に学校を出発し、到着後、塗装工場や車体工場を見学しました。岡崎製作所で生産されているPHEV車は、電気自動車であることを教えていただきました。その後、「三菱オートギャラリー」を見学させていただきました。そこには、時代を駆け抜けてきた名車やモータースポーツで活躍をした競技車などが展示されており、三菱自動車のクルマ創りの歴史や現代に受け継がれているコンセプトなどについて学ぶことができました。

卒業式 3／18（金）



18日（金）、大井小学校最後の卒業式が挙行了されました。朝からどんよりとした天気でしたが、天気とは裏腹に、思い出に残る、記憶に残る、素晴らしい卒業式となりました。24日（木）には、閉校記念式典も予定されていますが、学校日より「くすのき」は、この号をもって廃刊とさせていただきます。長い間、ありがとうございました。最後に、卒業式での式辞を抜粋したものを載せさせていただきます。

13名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

卒業生のみなさんは、大井小学校のリーダーとして、校内運動会や学習発表会などの学校行事、なかよし班や通学団の班長として、在校生の手本となって活躍してきました。中でも、11月に行われた学習発表会では、「大井小 歴史発見！」と題して、総合的な学習の時間の授業で、一人一人が課題をもち、大井小学校149年の歴史について調べ学習を進め、学習発表会当日に、素晴らしい発表を披露してくれました。その内容は、校長として深く感銘を受け、多くの方に知ってほしいとの思いから、3月24日に予定されている閉校記念日での発表となりました。ぜひ、素晴らしい発表を期待しています。そんな頼もしい6年生も、今日で卒業です。

6年生のみなさんが卒業する今年度は、東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。本来であれば、昨年度開催される予定であった東京オリンピック・パラリンピックは、新型コロナウイルス感染症の影響で、一年遅れとなり、無観客での開催となりました。この状況下では、選手のモチベーションも下がるのではないかと心配されましたが、どの日本人選手も、本当によく頑張り、金メダルラッシュとなりました。中でも、私が特に感動した選手は、東京パラリンピックの水泳に出場した鈴木孝幸選手です。鈴木選手は両腕両足に障害があり、右手は肘から下がなく、左手は指が3本しかなく、両足は膝から下がありません。しかし、水泳の5種目に出場し、金1、銀2、銅2と、出場した5種目全てで、メダルを獲得しました。鈴木選手は、参加するにあたり、「レースに勝つこと」を目標に練習に取り組み、今回、その練習が実り、参加した種目全てでメダルを取ることができたのです。その後のインタビューで今後の目標について聞かれ、「死ぬまで成長できると思い、いろいろなことに挑戦したい」と話をしていました。健常者に比べ、身体面で障害があっても、それを克服し、次の目標に向かって生きていこうとする鈴木選手に感銘を受けました。

そこで、卒業に当たり、6年生のみなさんに、この言葉を贈ります。それは、「意志あるところに道は開ける」です。これは、アメリカ合衆国第16代大統領、エブラハム・リンカーンの言葉です。だれしも。生きていけば必ず困難な場面にぶつかる時があります。その時、すぐに気持ちが折れて諦めてしまう人もいれば、決して諦めることなく、立ち向かっていく人もいます。この違いは、ちょっとした考え方の差です。「どうせ無理だ」と思うのか「きっとできる」と信じるのか、それだけです。この言葉を知っていれば、きっと困難な場面でも踏ん張ることができます。どんな困難な道でも、それをやり遂げる意志さえあれば、必ず道は開けるという希望と勇気がわいてきます。足を踏み出すことをためらっている時、困難にぶつかって折れかけている時は、思い出してください。

卒業生のみなさん、あなたたちやあなたたちの先輩がこの大井小学校の素晴らしい伝統を創り上げてきたように、これからは、自分の未来を自分で創り上げていってください。そして、常に自らを高め、社会に役立つ人となり、たくましく生きぬいていくことを願い、式辞といたします。